

天まで届け光の芸術



測量山から上空に向け、使用済みてんぷら油を利用したバイオディーゼル燃料を使った光線を放ち、まちの活性化と環境問題をPRする「光と音の満月祭」が市内の若者たちの手によって開催。



測量山鉄塔のカラフルなライトアップの中から12本の白い光線が、上空に解き放たれた。その光を音楽と共に味わおうと、フェリーターミナルではライブも行われ、大きなガラス窓から見る光線ショーとジャズの融合に酔いしれていた。
(11月24日)

輪西に芸術家の輪



輪西の元倉庫を利用したスタジオで、世代やジャンルを超えた芸術家たちの作品展「霞」が開催された。彫刻や絵画、写真などが、元倉庫の持つ独特の空間に展示され、来場者は製作者本人から作品についての説明を聞くなど、芸術への関心を深めていた。
(11月24日～12月2日)



良いまちを目指す心はひとつ



町会や自治会と市が直接意見交換する、町会・自治会懇談会が東町地区を皮切りに、9地区で開催された。市の財政状況や、地域がそれぞれ抱えるさまざまな問題など、市と地域、お互いの出席者が、ざくばらんに意見を交わした。
(11月20日～12月20日)

日鋼所蔵の名作を公開



日本製鋼所室蘭製作所が所蔵する絵画や掛け軸など57点の作品を公開する、日本製鋼所創業100周年記念所蔵作品展が文化センターで開催。「日本刀鍛錬図」や「工場の街」など、同所ゆかりの作品もあり、来場者は数多くの作品を興味深く見ていた。
(12月4日～12月9日)